

## 令和5年度「ふれあいファミリアミーティング」回答表【熊坂区】

No.	意見・要望	担当課	回答
1	<p><b>町で唯一の交通手段である神奈中バス運行について意見です。子育て中の親</b></p> <p>現在、高校生の通学時間帯にバスの運行がなく特に相模原方面は始発でも間に合わず結果、親が来るまで最寄り駅まで送ることになっています。毎日の通学、休日の部活と親の負担はかなり大きくなっています。最寄り駅までの往復時間、高騰するガソリン代家計にも負担になっています。親の仕事で協力が得られない家庭ではバス運行が大切な進路選択にまで影響しているのが現状です。</p> <p>子ども達が交通手段を考えずに行きたい学校へ行けるよう通学時間帯のバス運行が必要です。</p>	企画政策課	<p>路線バス事業者は、人口減少やテレワークの普及による需要の減少をはじめ、燃料価格の高騰や運転手不足等により、厳しい経営状況にあり、路線の廃止や減便など事業を縮小せざるを得ない状況となっている中で、現在の利用状況を鑑みますと、バスの増便等は難しいものと認識しています。</p> <p>こうした中、町では、路線バス事業者と協議し、既存のバス路線の一部（朝・夕の便）を振り分け、六倉・大塚地区において新規路線の運行を開始するなど、通学、帰宅時間帯における利便性の向上を図るとともに、現在のバス路線が維持できるよう、路線バス事業者への支援も行ってきたところです。</p> <p>引き続き、通学利便の向上を含めた路線バスの利便性向上に向けて、住民ニーズや地域全体における公共交通網の状況、社会情勢等を踏まえ、路線バス事業者と協議してまいります。</p>
2	<p><b>中津小学校の体育館利用者のマナーについて意見です。中津小学校体育館利用者</b></p> <p>学校施設である体育館は地域の団体に開放されています。多くの団体（主にスポーツ競技団体）が利用して練習等に活用しています。一部であると思うがペットボトル等のゴミを持ち帰らない事例が発生しています。それぞれの利用団体がマナーを守るのが望ましいが利用規則等を明確にして掲示や利用団体に周知する必要があります。</p>	スポーツ・文化振興課	<p>学校体育施設の利用については、毎年3月に開催する利用団体代表者説明会の際、利用上のルールやマナーなどを遵守するよう周知していますが、改めて、施設を利用する各団体の代表者に対し、ごみの持ち帰りを徹底していただくよう、10月13日に通知いたしました。</p>
3	<p><b>「かなちゃん手形」「100円利用料」について意見です。「かなちゃん手形」利用者</b></p> <p>現在の制度は高齢者にとってややストレスとなっています。小銭用意、車内両替の手間、あわてて転倒しそうにもなりました。高齢者は思わぬ事が精神的ストレスやケガの原因になります。</p> <p>外出手段の少ない高齢者にとって利便性の高い公共機関を今後も検討していく必要があります。</p>	企画政策課 高齢介護課	<p>「かなちゃん手形」は、神奈川中央交通株式会社のサービスとなっておりますので、いただいたご意見につきましては、10月10日に同社にお伝えしました。</p> <p>町では、高齢者の公共交通の利便性向上に向け、町内循環バスの商業施設や医療機関への乗り入れをはじめ、かなちゃん手形の助成や運転免許の自主返納支援等各種事業など、さまざまな移動支援策を展開しており、引き続き、こうした取組を推進してまいります。</p>

No.	意見・要望	担当課	回答
4	<p><b>BBQ・キャンプでのマナー違反（迷惑行為）について提案です。マナー違反で迷惑している住民</b></p> <p>昨今のアウトドアブームの影響もあり中津川八菅橋下の河川敷は多くの人が集まりBBQやキャンプを楽しんでいます。週末ともなれば河川敷はBBQやキャンプで賑わいます。そのBBQやキャンプで出たゴミを持ち帰らずに地域住民のゴミ集積場所に捨てていくマナー違反（迷惑行為）が多発しています。当然、そのゴミ集積場所を利用している住民が清掃しています。</p> <p>そこで提案ですが河川敷（BBQ・キャンプ目的）を有料エリアとして管理する。有料化することで利用者のマナー向上につなげることが期待できる。徴収した利用料は管理費やゴミ処理費用にする。（ゴミは各自持ち帰りが基本としますが処理も出ると思います。）</p> 	商工観光課	<p>町では、良好な河川環境を維持するため、河川美化広報や定期的な河川清掃を実施しているほか、キャンパー団体もゴミ拾いや草刈りなどのボランティア活動を行っています。</p> <p>ご意見のありましたゴミ集積場所につきましては、町職員が現地を確認して、通りがかりのゴミ捨てを抑止する看板を掲出します。</p> <p>また、河川敷の有料化につきましては、河川法では原則河川は自由使用となっており、これまでも検討を行った経緯がありましたが、多くの課題があるため、引き続き、先進自治体の取組等を参考にしながら効果的な対策を研究してまいります。</p>
5	<p><b>小田急多摩線延伸について提案です。小田急線が気になる住民</b></p> <p>小田急多摩線延伸による鉄道路線創設は多くの住民の希望です。通勤・通学・外出等の利便性向上。それに伴う地域活性化・雇用創設にも期待できます。町民にとって大きな関心事です。</p> <p>そこで提案ですが計画について定期的に進捗状況を発信する。長期的な大きな事業計画です。町民が皆、感心を持ち様々な意見を吸い上げて実現に向けて取り組んで欲しいです。</p>	企画政策課	<p>小田急多摩線の延伸につきましては、平成28年の国の交通政策審議会の答申において、上溝以西の延伸については、上溝までの整備の進捗状況を踏まえて検討するとされたほか、昨年改訂された県の「かながわ交通計画」においては、愛川・厚木方面への延伸が今後のまちづくりの動向等を踏まえて検討が望まれる路線として新たに位置付けられたところです。</p> <p>こうした状況は、町ホームページでの周知はもとより、商工団体や行政区で組織する住民団体「愛川小田急多摩線延伸促進協議会」においても、「協議会だより」による情報発信を行っており、行政区を通じた回覧やイベントでの配布など、広く町民皆さんにご覧いただけるよう、努めていただいております。</p>

No.	意見・要望	担当課	回答
6	<p><b>高齢者に配慮したサービス提供について提案です。老後を楽しく過ごしたい住民</b></p> <p>高齢者は外出手段が少なくコロナ禍の影響もあり更に外出の機会がなくなっています。例えば春はお花見・夏はお祭りや花火大会等行ってみたいイベントも多くあります。以前は見えていた近隣の花火大会も高層建築物ですっきり見えなくなりました。</p> <p>高齢者全員が行動的にいろんな団体に所属して楽しく生活できるわけではありません。そこで提案です。高齢者が気軽に楽しめる「期間限定のイベント臨時バス運行」で外出手段の少ない町民にサービスの提供をする。</p>	<p><b>高齢介護課</b></p>	<p>町では、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいつくりの増進を図るため、かなちゃん手形やタクシー利用券の交付、電動アシスト三輪自転車の購入費助成のほか、運転免許証を自主返納された方に対して「かなちゃん手形」や循環バス利用券を交付するなど、様々な外出支援の取組を進めており、各老人クラブの研修旅行などのイベント実施にあたりまして、福祉バスをご利用いただいております。</p> <p>なお、老人クラブでは、それぞれの地域に根ざした生きがいつくりや健康づくり、趣味の事業等を工夫しながら取り組んでおられますので、ぜひクラブへのご参加もご検討いただければと思います。</p> <p>いただいたご提案につきましては、今後生きがいつくり事業などを検討する上で参考とさせていただきます。</p>